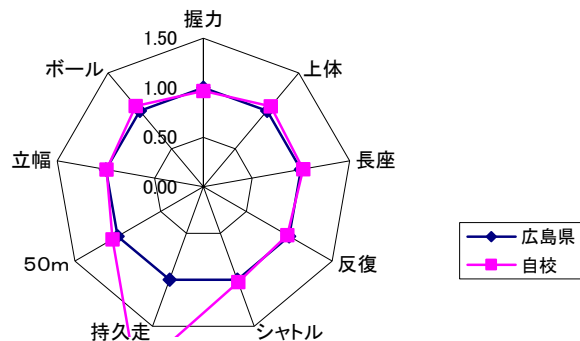


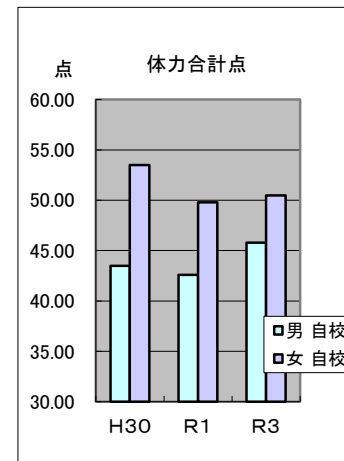
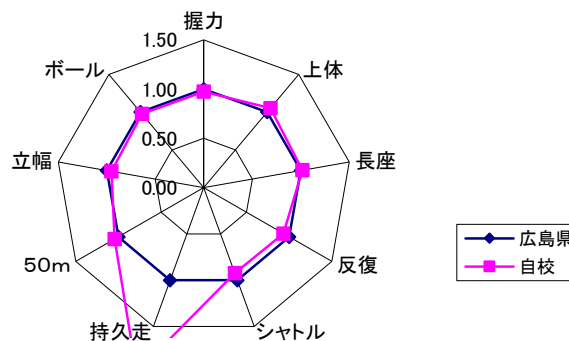
男子の体力合計点 学校 45.78 点 県平均 43.19 点

女子の体力合計点 学校 50.49 点 県平均 50.88 点

体力・運動能力調査比較(中2男子)



体力・運動能力調査比較(中2女子)



R3体力・運動能力調査の結果と分析

結果と分析 (全学年の状況も踏まえて記入すること)

- ① 50m走(呉市の課題種目)
 - ・県平均と比較し、2年生は男子は、0.49p、女子は0.41p上回っている。生徒の走る際のモチベーションを引き上げると同時に、日ごろの授業や部活動の中で、全力で走り抜ける経験を増やすなど走力の向上を図ると同時に運動に対する関心を高める。
- ②(中学校区の課題種目)
 - ・県平均と比較し、男子は、1.33上回り、女子は0.32p下回っている。特に女子が低いのが気になる。日ごろの授業や部活動の中で、腕立て伏せなどの補強運動を通じてをもっと行う必要性を感じる。
- ③(自校の課題種目)
 - ・県平均と比較し、男子は、1.70p、女子は1.26p上回っている。腹筋を鍛えるということは、粘り強さが身につく、精神的にも様々な種目に大きな影響を与える。毎時間の授業の補強運動に取り入れると同時に、今後とも日頃からトレーニングするよう推進していきたい。

課題解決のための今後の取組及び数値目標

①呉市の課題種目 (50m走) 具体的な数値目標 (男子7.30、女子8.30)	具体的な取組内容 ・走る事は何よりも体力の基本なので日頃の部活動や授業等を通して高めていく。また、日頃から体育スポーツに安心を持たせ運動に親しむことが重要である。 ・グラウンドなどの環境面もしっかり整えてテストを実施する。
②中学校区の課題種目 (ハンドボール投げ) 具体的な数値目標 (男子23.7、女子14.0)	具体的な取組内容(中学校区で1つ以上共通の取組を設定) ・昨年度同様どの学年も向上しているので今後とも部活動や授業を通じて強化していきたい。また、投げるボールを機会を増やすと同時に腕立て伏せなどの補強運動を推進していきたい。
③自校の課題種目 (上体起こし) 具体的な数値目標 (男子30.0、女子25.0)	具体的な取組内容 ・「何をするにしても腹筋に力が入らなければ、頑張りが効きにくい」ことを生徒に意識させ、日頃から取組を強化する。毎回の授業の補強運動で取り入れるほか、特に上体起こしは家庭でもできる種目であり学習の合間などでも取り組ませるように推進する。

※ 具体的な数値目標(記録の伸びを数値化)